



2010～2011 年度 RI 会長
Ray Klingensmith



東京赤坂ロータリークラブ

NO. 1134 / 2011. 4. 22

例 会/ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2 丁目 アネックス 3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

http://www.akasakarotary.com/

Weekly Report 東京赤坂ロータリークラブ週報

「原点に帰ろう 友情と絆 行動する赤坂ロータリークラブ」

2010～2011年度 東京赤坂ロータリークラブテーマ/吉岡琢磨会長

●本日の例会/ 2011 年 4 月 22 日 第 1160 回

東京赤坂 RC・東京麻布 RC 合同例会

卓話予定:「言葉の力」

株式会社トイズプランニング

代表取締役社長 北原 照久 氏

●前回報告/2011 年 4 月 15 日 第 1159 回例会

第 5 回クラブ協議会

テーマ 「原点にかえってのクラブのあり方」



幹事報告: (橋本幹事)

1. 地区から「大震災復興支援委員会」創設の報告がきました。目的は以下の通りです。

(1) ガバナー会から呼びかけの「東日本大震災被災地にたいする義援金」の募金協力とガバナー会への提案。

(2) 「ロータリー日本地震災害復興基金」への募金協力

(3) 地区として、地区事業のありかたの検討

(4) 必要に応じ、他地区 (海外も含む) クラブからの支援協力に対する窓口 (5) 期間は 2011 年 6 月 30 日迄

2. 東日本大震災義援金のお願い (入沢社会奉仕委員長代行) 第一回目の義援金は 3 月 29 日 50 万円送金いたしました。第二回目の義援金 4 月 20 日締め切りです。皆様の募金を引き続きお願い申し上げます。

3. 風の子会第 18 回障害者は外に出よう (入沢社会奉仕委員長代行) 5 月 4 日 (土) 14:00～港区役所 9 階大会議室で全体集会を実施。5 月 22 日 (日) 9:00～「港区だよ全員集合!」雨天の場合は 5 月 29 日 (日) です。

皆様の参加をお願いします。(参加費 500 円)



ロータリー情報委員会:

(村山 R 情報委員長)

ロータリーミニ情報

「ライオンズクラブなど」



慶事披露:

誕生祝/

橋本年男君 (4 月 2 日)

竹本孝三郎君

(4 月 11 日)

入沢頼二君 (4 月 9 日)



100%出席/

高須康有君(22 年)・吉岡琢磨君(19 年)・村山公士君(15 年)

庄司泰典君(12 年)・尾関武男君(11 年)・尾上 寛君(8 年)



ニコニコ発表: 田村会員

来客紹介: 竹本会員



出席報告 : 会員 49 名/出席 27 名・欠席 22 名

ビジター : 中山章三 (大阪北 RC)、清水重雄 (東京西南 RC)、鎌田進 (東京目黒 RC)

計 3 名(敬称略)

●次回予告/ 2011 年 5 月 13 日(金) 第 1161 例会

卓話予定: 株式会社 玉海力 代表取締役
元幕内玉海力 河邊 幸夫 氏

※ 4 月 29 日(金)、5 月 6 日(金)は、休会です。

開催日時： 2011年4月15日（金） 13:10～14:30

場 所： ANA インターコンチネンタルホテル B1「オーロラ」

テーマ： (1)長期計画最終版について (2)原点に帰ってのクラブのあり方について

出席者： 吉岡、高須、橋本、四分一、大日方、村山、尾関、飯島、渡部、吉田、西澤、庄司、石井、
佐藤（仁）、清水、ジョン、小林、竹本
計 18 名

1. 開会の挨拶 吉岡会長

本日は2010～2011年度5回目のクラブ協議会です。テーマは、長期計画、並びに原点に帰ってのクラブのあり方という大変重要なテーマです。皆様の活発なご意見を願います。私達のクラブテーマである「絆」という言葉が最近、頻繁に使われております。特に東日本大震災では大切な言葉となっております。私達の絆も大切にいたしましょう。

2. 長期計画について

大日方委員長：ロータリーでは、奉仕、親睦、多様性に加えて、高潔性、リーダーシップの5つが中核となる価値観とされてきている。高潔性とは、真摯＝高潔性であり、真摯とは、ドラッカーがいう真摯であることである。ロータリーとは、地域社会に貢献できる人々の集まりだとされ、国際ロータリーはクラブ支援のために、長期計画といったことをするのだという。地区では、活発な会員活動、奉仕活動、R 財団の応援、リーダーを育成という4つのことを強調している。こういったことを踏まえて我がクラブは何を目指すか、ロータリーとしての価値観をどうするかを議論した結果、クラブを強くするために教育をする、勉強をしてロータリーをよく知ったうえで活動する、奉仕活動をする、ということになった。ロータリーでは、継続的な奉仕は個人がやるという性格をもっている。クラブでは、新しいことをやり、経験をつみ、それをいかして個人で継続するという概念である。教育と奉仕、私達は2つの柱をかかげてやっていきたいと思いますということになった。長期計画委員会は、3年間行うための方向付けをした。今後3年間こういったことを踏まえてクラブ活動を行っていただきたいと思う。

橋本幹事：大日方長期計画委員長からの説明させた内容をベースといたしまして長期計画立案のワークシートを作成いたしました。特にビジョンを実現する3年目標では今年度は吉岡会長ラインで進めておりますが、次年度につきましては高須会長、尾上幹事と次々年度では尾関会長との間で意識合わせの上、目標を決定いたしました。なお、長期計画委員会につきましては2011年4月末で解散をいたしまして、長期計画サポートチームに移行する事となりました。サポートチームのリーダーは大日方会員、サブリーダーは橋本会員が行い6名編成のチームとなります。

3. 原点にかえってのクラブのあり方

四分一：クラブができた頃を思い出しながらお話いたします。私が当初受けた印象は、毎週毎週道場にかよっているという印象です。全てが新鮮だったということも思い出します。当時、例会とは別に炉辺会合もあり、また、チャーターナイトにむけて2人1組で、東京の全クラブに挨拶に行くなど、当時は会員が丸となっていた。全員が目標を一つにして団結していた。大日方さんの話しにもあったように、長期計画をどうするかなど当時やっていたことを今、初心にかえって行っているように思える。当時、クラブは行動規範、プリンシプルなど、スマートでなければいけない、といわれていた。他者からみて、子供たちからみて、「あの人がみたいになりたい」という模範になるように、まず自分たちがなければならない、といわれていた。今回の大震災のときに、ある孤立した地区が取り上げられていた。何十人かが孤立していたが、統一がとれているという。それは普段からリーダーシップのある人があり、統一がとれて団結していたのだと思う。ロータリーは、立派な方が集まっていますが、私自身は、一隅を照らすことのできるようになればいいと思う。

吉田：チャーターメンバーとして、古い時代を思い出して話してほしいということなので、そのように話します。当クラブは、東京南 RC の子クラブとしてでき、当時会長の田辺さんの掲げたクラブとして、ロータリーには、親睦と奉仕というのがありますが、

当クラブは南クラブのもっている自由で、品位のあるクラブとしていきたいといっていた。品位というのは、大日方さんの言っていた、高潔性という部分にあたる。四分一さんのお話のなかで、道場にくるような、といっていたが、私自身、奉仕ができればと思い入会したが、奉仕の一步を踏み出せずにいた。「なぜか」と田辺さんに聞いたところ「まだ早い」と。「何もわかっていないのに踏み出せない」とのこと。だから、ロータリーのことを勉強して、議論を重ねた。印象に残っているのは、勉強をするために合宿をしたこと。自分たちで料理をして、寒いときであったが議論をした。そんなことをやったクラブはないかもしれないが、あの教育効果、一緒に合宿したということで、絆は強くなった感じがする。クラブのあり方として道場に立ち返ったらどうかと思います。

橋本幹事：どのようなクラブにしていこうかを踏まえて、次々年度会長の尾関さんをお願いします。

尾関：赤坂ロータリーのここが際立ったクラブだという、ロータリアンでない方にも、いいクラブだと記憶にのこるクラブにしていきたい。今、日本そのものをよくしていこう、という大きなテーマができました。他の団体になるが、青年会議所にシニアクラブという OB 会がある。今、現役とシニアが一体とならなければいけない。NPO たちと手をつないで、やっていかなければならないというのが青年であり、知恵を出すのがシニアである、と。日本は、こういった大変なときには、政治は頼れない。誰をたよればいいのか、日本の経済を引っ張ってきたのは、我々民間であると思う。つまり民間のつながり、実践なのだと思う。ロータリーでいうなら、会員同士のつながり、リーダーシップだと思う。今、日本のロータリーは誰も立ち上がらない。義援金は集めるが、被災地に行くとか行動がない。日本は自衛隊しか頼れない。ロータリーのような団体こそ、輪を広げて行動しなければいけないと思う。私は別のロータリーにいて、赤坂 RC へ移ってきた。前のクラブではチャーターメンバーで、皆丸になってクラブを盛り上げていこうとしていたが、時がたち人数ばかりが増え大きくなりすぎて、例会へ行けば名刺交換だけで会員同士の顔が見えなくなってきた。赤坂 RC にメイクアップにきたとき感じたのが絆の深さであり、自分の求めていたものがあつたので、赤坂 RC へ移ってきた。会員同士の絆を深めていくことが、良い方向へ向いていくと思う。

橋本幹事：尾関会員のお話にもありました東京 JC シニアクラブ春季例会「今我々に何ができるだろう!？」東日本大震災から学ぶ社会貢献。の案内を頂きましたので次例会で皆様に披露いたしたく考えています。

村山：今回の大震災についても何ができるかというのは、日ごろから何ができるかである。技術を自分の生き方をどこまで突き詰めているかではないか。原発は、いまコントロールできなくなっている。生活を豊かにするための原発であったが、普段から、このような状態になるであろうことを突き詰めて話あっていないければ、いけなかったのではと思う。ロータリーについても、普段の話のなかに仕事の価値観など、突き詰めた話ができることが、大切なのではないと思う。普段から、クラブの活性化のためにどうしたらいいか、こういったときに何ができるか、といったようなことの話合いや、奉仕活動もやったほうがいい。わからないと、何をしたらいいか、手をこまねいてしまう。だから、日頃から、研修をやり、クラブのあり方、仕事のあり方、いき方の議論を積み重ねていく、団体として、社会奉仕も訓練のためにやっていったらいいと思う。

橋本幹事：価値観を話あえる仲間ということ、研修の件、この2点が大切だと思う。

ジョン：原発で、演奏家も心配で不安である。やろうという気持ちにもならない。ロータリアンとして何ができるのかであるが、まずは個人的に行動する。クラブとして行動するというのは、速やかにいかな部分もあるので、個人でやるということが大切。親睦も大事だが、形骸化してしまっているように感じる。自分たちはどうする

かとか価値観が話し合える、議論できるクラブになればいいと思う。今後は日ごろから、議論ができるクラブに変わっていければいいと思う。

橋本幹事：ジョンさんのお話で「公山城 RC」では今回の日本国の震災に当たりクラブ内で“何が出来るか”を話合った結果、義援金 100 万ウォンとマスク 1,000 枚を支援物資として送る事を決めました。姉妹クラブを締結して即行動に移した事により締結の価値が生まれたと黄会長からメッセージが来ています。

飯島：原点に帰ってとは何かを考えた。クラブとして、個人の奉仕が原点だということだが、それには、まず価値観の統一性が大事だと思う。ロータリーとしてスマートであれということ、まずクラブとして RI のビジョンにどのように参加するかということが、ロータリアンの役目であり、原点に帰るということではないか。ロータリーの価値観のなかに高潔性のことが言われてきたということは、私達の年代にそういったことができなくなってきたのかな、とも感じる。スマートにきちんとしていきたいと思う。

小林：先輩たちのおっしゃるとおりで、何も申し上げることはなく、来年も微力ながら協力していきたいと思う。

竹本：ロータリークラブの活動も運営も含め、成熟した流れの中で、長期計画のなかに、高潔性、リーダーシップが加わったのは、もともとあったものであるが、洗いなおそうということであると考える。我クラブに関しては、奉仕と勉強をやっていることということで、こういうくくりがでること、シンプルに考えやっていると。私もこれも道標としてやっていこうと思う。

清水：入会したときは、緊張感もあったが、慣れてきて人間的に親しくなってくるので、勉強をしていくことは大切だと思う。ロータリーは、きちんとした理念をもっている団体。以前は年に 2 回はクラブ内で勉強会をやったが、最近は、きちんと勉強しなくては、ということとは常々感じていた。一方で、風の子会に参加するといった具体的な奉仕活動は、人に説明しやすい。具体性がないと物事は、説明しにくいので、具体性があるのもいいと思う。人道的奉仕というのはよくわからないが、奉仕活動はいいことであるから、奉仕活動は具体的にやることも大事だ。物事は、論理的にやることと、行動に移すことも大事。

渡部：長期計画について、よくできている計画だと思う。平易な文章で、的確に組み立てられている。説得力のある計画だと思う。2つの点について、計画は長期計画と、短期計画のほかに、中期計画がある。長期＝ビジョン、短期＝実行、というかたちに絞られている。ビジョンだけではなく、実行面でもかかわってくる。RI の戦略的計画というのは、軍隊として始まった戦略プランのこと。つまり、勝つためのプランである。出席率、財政的なことにも勝たなければならないということだと思う。

西澤：先ほど大阪北 RC のビジターの方が「みなさん集まるのが遅い、元気がない、ビジターが少ない。もっとビジターを呼び込んだら」といっていた。ライオンズは JC の若手を入れているとのこと。「皆は自信がないから、よべないのでは」ともいっていた。形骸化しているとジョンさんがいっていたが、まさにそうで、絆が建前だけになっていることもあるのではないかな。企業でも、元気な会社は会計面でも活発で、預金もある。我がクラブの会計を見ると、そうでもなく、会費未納者もまだいる。新会員を増やし、経済面でも元気なクラブにしていかなければと思う。

高須：大震災がおこるとは思っていないなかでのクラブ協議会があります。皆様から素晴らしいご意見があり、状況がこうなっているなかで、ロータリークラブとしてもっと動き、行動をしなければと反省している。企業も防災面は、阪神大震災後、きちんとやっていたつもりであるが、今回、見直さなければと思っている。また事業計画も見直さなければと思っている。ロータリーにおいては、皆様の 1 人 1 人の意見を生かして、長期計画をいかして、今後は重きをおきながら、クラブ活動をやっていききたいと思う。もっと発信していかなければと思う。もともとクラブに入った当初の時から思うと、どうしても形作りをしているという気持ちがある。当時は、自分の会社をやるだけで精一杯で、ロータリーどころではないというのがあったが、考えてみるとロータリーの 4 つのテストのことを流用しながら、社員の質を高めたり、経営にいかしていたと思う。これから大変な時代だが、ロータリーの理論を生かしてクラブ運営をやらせていただきたいと思います。長時間にわたり、ご意見いただきまして、ありがとうございました。簡単ではありますが、挨拶とさせていただきます。

「東日本巨大地震」義援金の募金状況

3 月 18 日～4 月 15 日の例会で募金されました方々は次のとおりです。ご協力有難うございました。募金活動は引き続き行われますので宜しくお願い申し上げます。

1. 3 月 18 日募金者（順不同敬称は省略させていただきます）
吉岡・高須・橋本・入沢・飯島・石井・岩上・松永・松本・村山・大日方・岡澤・尾関・佐藤（仁）・佐藤（雅）・朴・四分一・清水・庄司・田村・土屋・渡部・吉田・新家（東京南） 以上 24 名 金額：168,000 円
2. 3 月 25 日募金者（順不同敬称は省略させていただきます）
小林・西澤・柴本・内田 金額：31,000 円
3. クラブニコニコより 金額：201,000 円
4. 4 月 1 日募金者（順不同敬称は省略させていただきます）
秋吉・村山（2 回目）・尾上・尾関（2 回目）・高須（2 回目）・竹本（2 回目） 以上 6 名 金額 34,000 円
5. 4 月 15 日募金者（順不同敬称は省略させていただきます）
藤井（2 回目）、橋本（2 回目）、ジョン、西澤（2 回目）、大日方（2 回目）、小原、清水（2 回目）、庄司（2 回目）、周、田村（2 回目）、吉岡（2 回目） 以上 10 名
金額 118,000 円
6. チャリティーバザーより 金額 52,000 円
7. 3 月 18 日～4 月 15 日募金合計 704,000 円

会長 吉岡 琢磨
幹事 橋本 年男
社会奉仕委員長 入沢 頼二



4 月 15 日（金）／ 14 件 28,000 円

累計 1,040,600 円

多額の寄付を有難うございました。

吉岡琢磨/田村さん、お久しぶりです。皆勤有難うございます。高須康有/皆勤賞ありがとうございます。皆様のおかげです。橋本年男/誕生祝いありがとうございます。十年取って 61 歳になりました。尾関武男/100%出席との事。お祝ありがとうございます。村山公士/皆勤賞ありがとうございます。本日のクラブ協議会、途中で退出させていただきます。竹本孝三郎/誕生祝いありがとうございます。これだけは誰も均等に迎えられるのですね。大日方真/当クラブがはじめてスポンサーになって送り出した交換留学生清家アイさんが港区の区議会議員に立候補しました。応援したいと思います。石井謙次/暖かくなってきましたね。田村さんお久しぶりですね。佐藤仁/田村様、ニコニコお疲れ様です。西澤民夫/ガイガーカウンターを入手しました。本当に心配ですね。田村さんご苦勞様です。清水實/明日のコンサートはお蔭様でチケット売切れ。5 月 8 日にもありますのでよろしく。庄司泰典/皆出席祝い、ありがとうございます。土屋東一/田村さん、ニコニコご苦勞様です。田村昭二/ディズニールランド開演。自粛の自粛を。たくさんニコニコありがとうございます。

姉妹クラブ 締結式が執り行われました

東京赤坂RC 幹事 橋本 年男

当クラブはRI第3680地区・韓国公山城(コムサンソン)RCと友好関係にあります。今年度RIテーマ「Building Communities Bridging Continents」である事からも友好関係を一層前進させる事として、両クラブが姉妹クラブ締結を行う事となりました。締結式は2011年2月10日に公山城RC黄圭完会長を始めとする幹部6名の方々が来日し、ANA インターコンチネンタルホテル・オーロラの間で金澤 洋ガバナー補佐、猪山敏郎グループ幹事、佐々木敦也 麻布RC会長、加藤千博 麻布RC幹事を来賓としてご招待いたしまして、執り行われました。

12時30分吉岡会長の点鐘により例会を開催、その後ロータリーソングに続き両国の国歌を全員で斉唱し、13時10分から締結式が行われました。まず、吉岡会長、黄会長の挨拶の後に両クラブの幹事による締結証書の内容と細則の説明があり締結証書に両会長がサインを行い、両クラブ会員、金澤ガバナー補佐立会いの元に吉岡会長と黄会長が締結証書を取り交わし姉妹クラブが成立されました。来賓の金澤ガバナー補佐からは今回の締結式はRIテーマの時宜になかったものであり、両クラブが相互に協力しあって地域を育ててほしいとの祝辞を頂戴いたしました。



両クラブ会長の証書取り交わし



両会長の証書サイン



金澤ガバナー補佐



猪山グループ幹事



佐々木 麻布RC会長(左)
加藤 麻布RC幹事(右)



両クラブ幹事の細則説明



歓迎会



スカイツリー見学



赤坂RC事務局にて

